

内堀知事が来町

町長と子育て支援などについて意見を交換

内堀知事が7月20日に来町し、子育て支援施設などの視察や町長と意見交換を行いました。

内堀知事は、今年4月にオープンした多目的運動施設とその隣に整備予定の屋外遊び場の建設予定地を視察した後、ふるさと文化の館に移動し、子どもの笑顔ひろばを視察しました。こどもの笑顔ひろばでは、来館していた子どもたちに声をかけたり保護者の方々と談笑したりと和やかな雰囲気での視察となりました。その後、小野町の子育て支援施策などについて意見を交換しました。

町は、今後も県などとの連携や小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略、第四次小野町振興計画などに基づき、人口減少対策につながるまちづくり事業を展開してまいります。



1_内堀知事(左)と町長/2_内堀知事との意見交換の様子



笑顔であいさつを交わす会員と児童

あいさつ運動と街頭啓発活動で呼び掛け

第66回“社会を明るくする運動”
～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

「朝のあいさつ運動」が7月14日、町内各小学校で実施されました。

この運動は「社会を明るくする運動」の一環として更生保護女性会(近野喜子会長)が中心となり毎年実施しているもので、更生保護女性会・保護司会小野支部の会員、田村警察署小野分庁舎署員、小野町主任児童委員、町長などが参加し、登校してきた児童一人一人と「おはようございます」と大きな声であいさつを交わし、記念品を手渡していました。

また同日の夕方からは、田村地区保護司会小野支部(宗像泰弘支部長)主催による「社会を明るくする運動」の街頭啓発がおのショッピングプラザで行われました。買い物客にうちわやパンフレットなどを手渡し、犯罪や非行の防止を呼び掛けました。

法務省が主唱する「社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」は、本年度で66回目となり、全国各地でさまざまな運動が展開されています。なお強調月間初日の7月1日には、宗像泰弘保護司会小野支部長をはじめとする関係者が役場を訪れ、内閣総理大臣と福島県知事からのメッセージを町長に伝達しました。